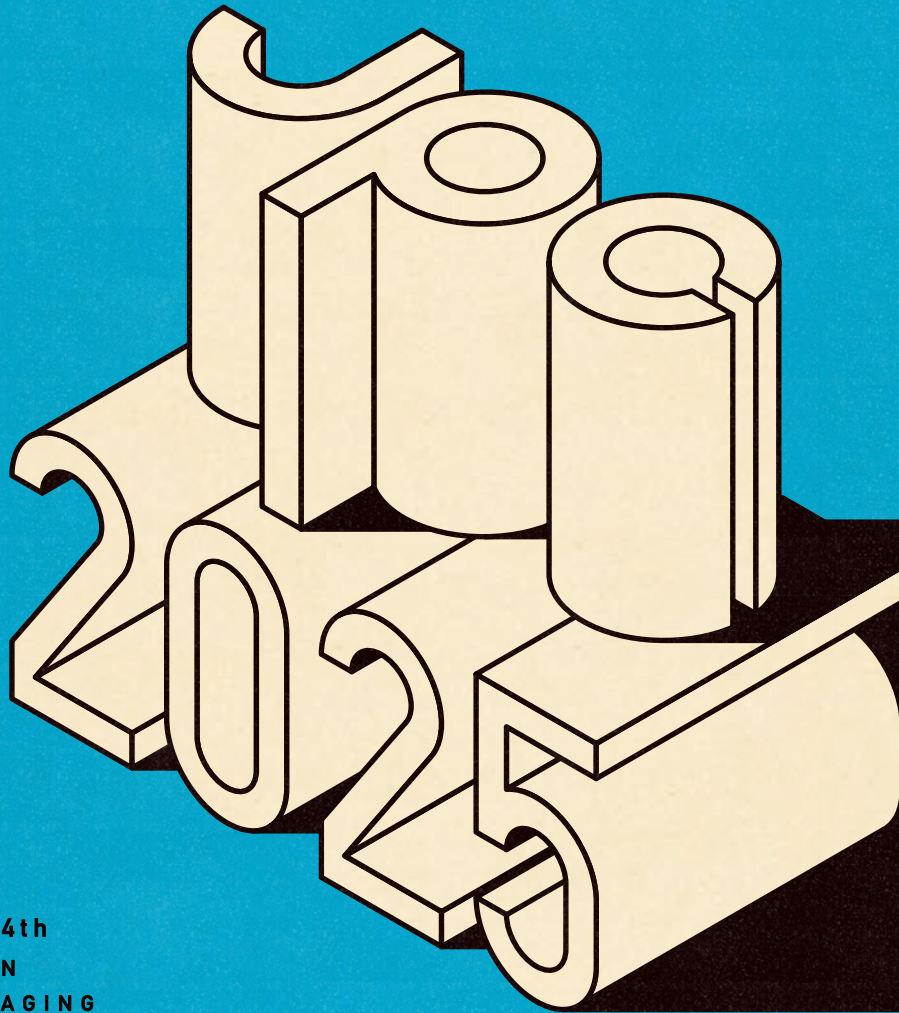


JPC

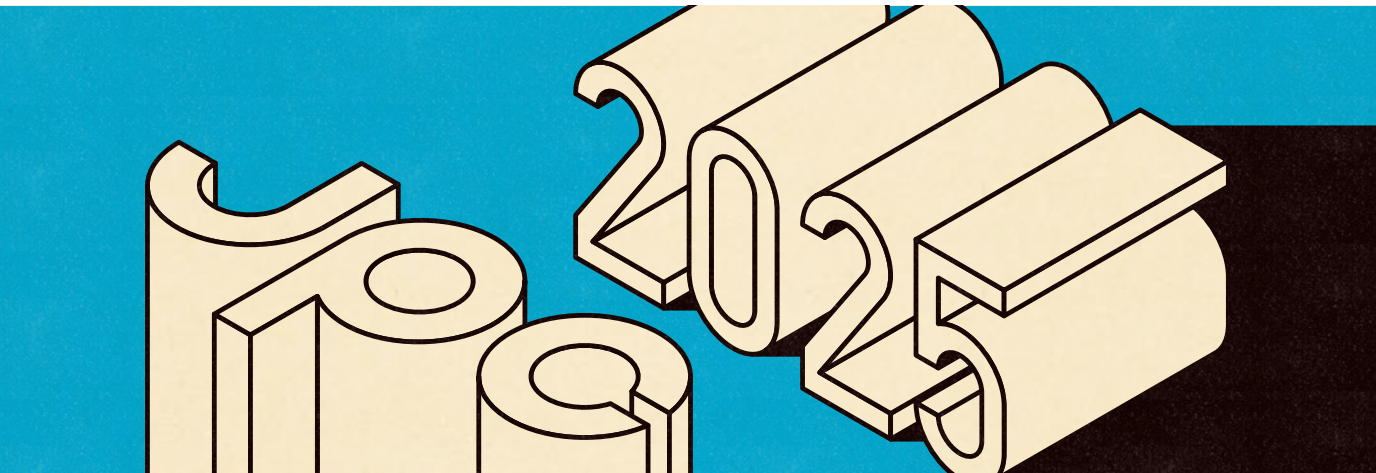


The 64th
JAPAN
PACKAGING
COMPETITION

第64回 ジャパンパッケージングコンペティション

2025 JPCは経済産業大臣賞以下
40点が受賞しました。

主催：一般社団法人 日本印刷産業連合会
後援：経済産業省／(公社)日本パッケージデザイン協会／
(公社)日本包装技術協会／(公社)日本マーケティング協会／
(一社)日本プロモーション・マーケティング協会／(一社)日本百貨店協会
協賛：平和紙業株式会社



受賞作品紹介

2025 JPCは経済産業大臣賞以下
40点が受賞しました。

5 **審査報告**

ジャパンパッケージングコンペティション審査委員長

加藤 芳夫

受賞作品**経済産業大臣賞**

- 6 カップヌードル カプヌのエモい出パッケージ 日清食品株式会社
 7 CookDo® (中華・韓国醤調味料) 味の素株式会社
 熟成豆板醤 / コチュジャン / 甜面醤 / 担々醤

経済産業省製造産業局長賞

- 8 ORGANIC SPICE 袋入り有機シリーズ エスビー食品株式会社
 9 ウィルキンソン タンサン ラベルレス エコマルチパック アサヒ飲料株式会社

経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞

- 10 CACAO DRIP 株式会社 明治
 11 Magic Mist サントリー食品インターナショナル株式会社
 12 1日分の野菜 mealup ザクザクスムージー 株式会社伊藤園

公益社団法人日本パッケージデザイン協会賞

- 13 toirono 三菱鉛筆株式会社

公益社団法人日本包装技術協会賞

- 14 ゼスプリ 紙製メガパック ゼスプリ インターナショナル ジャパン株式会社

公益社団法人日本マーケティング協会賞

- 15 休日だし。 味の素株式会社

一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会賞

- 16 日清焼そば U.F.O. お試し U.F.O. 日清食品株式会社

一般社団法人日本百貨店協会賞

- 17 ザ・ニッカ ナインディケイズ 木箱 ニッカウキスキー株式会社

一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞

- 18 創味あえるハコネーゼ ツインパック 株式会社創味食品
 19 「スパイスプレミアム カレーシリーズ」紙製スタンドパウチ エスビー食品株式会社
 20 豊島区立豊成小学校の学校のカレー 株式会社にしき食品
 /豊島区立豊成小学校の児童が考えたアーモンドミルクバナナカレー
 21 久世福商店監修シリーズ サンヨー食品株式会社
 22 デザインストーマパウチプロジェクト 聖隷浜松病院

洋菓子部門賞

- 23 ピノ チョコアソート、ピノ シーズンアソート 森永乳業株式会社
 (パックマンパッケージ)
 23 キットカット ホリデイサンタ オーナメント缶 ネスレ日本株式会社
 24 チョコレート効果 カカオ 72%ミニキューブ 250g 株式会社 明治

和菓子部門賞

- 24 福々めん 株式会社でん六

和食品部門賞

25 カップ入り お茶づけ海苔、カップ入り さけ茶づけ 株式会社永谷園

中華・エスニック食品部門賞

25 spisea blue 株式会社おのざき

健康食品部門賞

26 おいしいオートミール 新ごはん 日清シスコ株式会社

一般飲料部門賞

26 ネスカフェ ホイップタイム シリーズ ネスレ日本株式会社

衣料品部門賞

27 5本指タイツ 株式会社レヴアル

化粧品部門賞

27 ポーラ B.A グランラグゼ 0 株式会社ポーラ

化粧雑貨部門賞

28 メンズビオレ顔もふけるボディシート ポケットになるシール付き 花王株式会社

28 IUGEN 株式会社ポーラ

29 hadakara 泡で出てくるボディソープ ライオン株式会社

一般雑貨部門賞

29 ボタニカルペイント 600ml 株式会社カンペハピオ

30 紙パッケージ両面テープ 積水マテリアルソリューションズ株式会社

電気機器部門賞

30 おくち育 ライオン株式会社

贈答用品部門賞

31 「クノール® アドベントカレンダー」 <スープ7袋入> 味の素株式会社

31 【アスクル・ロハコ限定】 カゴメ トマトジュース 食塩無添加 200ml デザイン BOX カゴメ株式会社

POP部門賞

32 未来のレモンサワー ハットオン アサヒビール株式会社

地域産業商品部門賞

32 すっぴん酒風呂 S10 株式会社福光屋

ペット用品部門賞

33 きなり クリスマスボックス 株式会社カラーズ

外国人向け商品部門賞

33 Naniwa Whetstone ナニワ研磨工業株式会社

ベビー用品部門賞

34 ぷちキッズごはん ピジョン株式会社

開催主旨

JPC2025（2025年ジャパンパッケージングコンペティション）は、市場で販売されているコマーシャルパッケージの優秀性を競う商品包装展で、今回第64回を迎えます。

生活者の安心・安全、さらに環境への関心は極めて高く、供給サイドにおける商品包装への対応は、企業の社会的責任とともに一層重要になっています。

市場からは多様化するニーズに応えた、機能的で創造性のある、そして社会に調和したパッケージ開発が求められています。

JPCは、商品化されたパッケージを広く募集し、コンペティションを実施し、優秀な作品を展示することで、今後のパッケージ開発への情報を提供し、社会に貢献したいと考えております。

作品データの見方

SV：全体統括 監修 等

PD：プロデューサー ディレクター 等

CD：クリエイティブディレクター

AD：アートディレクター

D：デザイン プロダクトデザイン

グラフィックデザイン

BM：ブランドマネージャー 等

PL：プランナー コーディネーター 等

MK：マーケティング

CW：コピーライター

CO：構造ディレクター パッケージエンジニア 等

BO：個装 個箱 包材 等

M：製作 容器製作会社 コンバーター メーカー 等

審査報告

ジャパンパッケージングコンペティション審査委員長
加藤 芳夫 (大阪芸術大学客員教授・クリエイティブディレクター)

「もう一度、買いたい、使いたい」という体験ができる商品と出会うのは、とても幸せなことです。そういつたことが続くと、その商品は「お気に入り」として記憶に残り、「なくてはならないブランド」となります。ブランドは「つくり手の中にあるのではなく、使い手、お客様の頭や身体の中」にあるのです。

パッケージには、「保護化」「保管化」「可般化」「単位化」「伝達化」などの機能があります。パッケージデザインは魅力的なコンセプトを核にして創られますが、商品の本質価値をお客様に伝え経験価値を創り続けることで、ブランド資産を形成することができます。パッケージデザインは、ブランディングの核であり、経営の重要なポジションをえています。

今回のJPC2025 経産大臣賞1部門の「カップヌードル カプヌのエモい出パッケージ」(日清食品)は、ブランド資産を最大限に活用したパッケージデザインでした。「お客様のさまざまな体験メッセージ」を、日清ブランド・オリジナル書体のタイポグラフィによって、楽しくデザインしています。お客様の体験を価値化したブランド資産とパッケージデザインの見事な統合により実現されています。この商品化はロイヤルカスタマーの存在無くしては、実現できなかったでしょう。中身の本質を外側に伝えるパッケージデザインの個性的な一つの姿と言えるでしょう。

経産大臣賞2部門の「CookDo®(中華・韓国醤調味料) 熟成豆板醤 / コチュジャン / 甜面醤 / 担々醤(味の素)は、「SDGs」と「使いやすさ」の課題を、リニューアルで見事に解決しています。この新しいタイプのチューブ(パウチ)は、プラスチック使用量を50%削減し、パウチの簡便さとチューブの使いやすさの体験を掛け合わせたパッケージになっています。パッケージのグラフィックは、なぜか親しみやすい感じがあります。その秘密は、CookDoのロゴの上部の二つの目玉。商品全体がキャラクターに感じる驚きのデザインです。この新しいアイコンが、お客様の記憶に残り、購入の継続に役だつこととなるでしょう。

商品化デザインはお客様視点が基本です。ユーザーや顧客の購入・使用・廃棄の良い体験情報は、商品化にとって宝の山です。その情報をもとにした体験デザインにより創られたパッケージは、お客様の大切なブランドとなることでしょう。

エクスペリエンスデザイン(体験デザイン)は、デザイナーだけでなく事業部やサービスに関わるすべての人が協業することにより実現します。フラットな「組織・関係性・意識」から良いパッケージデザインが生まれるのを忘れてはなりません。

新しい提案は、いつの時代も魅力的なものです。「ワクワクする新鮮な驚き」と、「なぜか懐かしくて人間味がある」の相反する価値の統合。こういったパッケージと出会うと、嬉しくなります。「環境にも優しく」「人に寄り添う優しさ」があるパッケージが多く生まれている国は幸せの国です。ジャパンパッケージングコンペティションで「幸せパッケージ」が、これからもたくさん見られることを願っています。



- 審査委員 (順不同)

加藤 芳夫 氏、松崎 笹子 氏、信藤 洋二 氏、竹内 攻 氏、竹原 聖人 氏、内田 剛 氏、吉原 直和 氏、木下 厚雄 氏、松下 麻子 氏

- オブザーバー

経済産業省担当官諸氏

経済産業大臣賞



カップヌードル カプヌのエモい出パッケージ

日清食品株式会社

- MK : 日清食品株式会社 川合 陽介 森 美奈 高崎 有紀
AD : 日清食品ホールディングス株式会社 山本 宏紀
PD : 株式会社たきコーポレーション 古田 清華
D : 株式会社たきコーポレーション 寺崎 元貴 三品 しずく

選評

カップヌードルは「発明」されてから53年がたったという。多くの人が何食も食べてきた中で、心温まる思い出がたくさんあるだろう。そんなエピソードを全国から寄せてもらい、100種類の「エモい出」をカップにデザインした。ロゴに似た見慣れた書体を1文字ずつ作って表現しており、デザインに無理がない。展開が斬新でプロモーション的な企画となった。100の別々のデザインカップを製造するという日清食品の技術の力も素晴らしいのだと思う。

経済産業大臣賞



CookDo® (中華・韓国醤調味料)
熟成豆板醬 / コチュジャン / 甜面醬 / 担々醬

味の素株式会社

- C D : 味の素株式会社
- D : 株式会社電通
- B O : TOPPAN 株式会社 (チューブ) 株式会社フジシール (瓶)

選評

チューブ・瓶タイプともにリニューアルされた。チューブタイプは触っただけで薄さと柔らかさを実感できる新素材が採用された。プラスチック量が50%削減されつつ、最後まで中身を絞り出しやすくなっている。安全性第一の食品パッケージの一段の進化を感じさせられた。裏面の一部を透明にして残り量が一目で分かる工夫もある。デザインはキャッチコピーの「無限に使える」より「∞」の記号を目のようにあしらひ、店頭でも印象的だろう。

経済産業省製造産業局長賞



ORGANIC SPICE 袋入り有機シリーズ

エスビー食品株式会社

- C D : 遠藤 健一
- A D : 永島 学
- D : 有限会社永島学デザイン室
- M : TOPPAN 株式会社

選評

有機 JAS 認定スパイスだけのラインアップ。袋タイプの印刷方式を油性グラビア印刷からデジタル印刷に切り替え、ヤレと製版工程を削減した。デジタル印刷の表現力を大いに引き出した。加えて、一部に再生 PET 樹脂を使用したリサイクル材「メカニカルリサイクル PET」を使用し、パッケージに関わる CO₂ 排出量を従来品から約 4 割削減。「PET ボトルリサイクル推奨マーク」を付与している。全体のプロジェクトとして高く評価できる。

経済産業省製造産業局長賞



ウィルキンソン タンサン ラベルレス エコマルチパック

アサヒ飲料株式会社

CO : アサヒ飲料株式会社 林 良祐
ウェストロック合同会社 横澤 郁子

選評

面積を従来のPETボトル6本マルチパックより約75%削減した紙資材。紙量を抑えつつボトル保持性を有し、糊不使用により石油由来材料を用いない紙のみの梱包で環境負荷を低減。ボトルを取り出しやすくする切り欠き形状や、廃棄時のコンパクト化で利便性も向上。オートメーションでの装製が可能な形状であり、商品情報をマルチパックに記載することでラベルレスボトルにも対応する。ボトルそのものの美しさにも魅せられた。

経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞



CACAO DRIP

株式会社 明治

CD : 株式会社 明治 デザイン戦略G

D : MN Design Office

選評

同社は、健康食品や化粧品の素材として注目の「セラミド」を世界で初めてカカオから素材化し、チョコレートを作った。カカオに知見の深い立場から新たに「美」への可能性を開く。カカオポリフェノール由来の独特の赤色や、外装のデザイン缶は、パートナーの高級化粧品メーカー・アルビオンが監修した。化粧品を思わせる外観やふたを開いたときのたたずまいには感動を感じる。植物素材の可能性を追求する両社の共鳴の深さゆえの世界観なのだと思う。

経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞



Magic Mist

サントリー食品インターナショナル株式会社

- CD : サントリーホールディングス株式会社 デザインセンター
- AD : サントリーホールディングス株式会社 デザインセンター
- D : TOPPAN 株式会社 寿精版印刷株式会社 デザインセンター

選評

香気成分をミスト状に噴射することで炭酸水などにフレッシュな果実の香りを感じさせる「今までにない飲料の楽しみ方」を提案する商品。容器は、新しい体験を生むコンセプトが直感的に伝わるよう、スプレー型などの既存形状ではなく、「使用法」や「美味しさを加えるイメージ」が一般に認知されているミル型を採用。ミル型でありながら吹きかけられる機構を新たに設計し、これまでになくコンセプトを体現することに成功した。

経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞



1日分の野菜 mealup ザクザクスムージー

株式会社伊藤園

選評

売り場での競争が激しい200ml紙パック飲料。パッケージの印刷面自体は小さいものの「ざく切りキャロット」を摂れることが明確に視認できる。野菜を食べているような満足感がダイレクトに伝わってくる秀逸なデザインだ。技術面では液体と固形物を一緒に無菌充填できる素材・システムが採用されているという。常温での長期保存も可能で、軽食代わりにいただきたいと思います。

公益社団法人日本パッケージデザイン協会賞



toirono

三菱鉛筆株式会社

PD : 福田 千絵
AD : 山根 康喜
D : 山根 康喜

選評

十人十色の自由な表現に寄り添いたいと開発された新しい色鉛筆。外装の紙スリーブには丹念に作り上げられたしっとりとした佇まいがある。表面に散りばめられた筆跡のデザインは、実際の色の重なり具合や濃度感を淡々と伝えてくる。内側には広島・長崎・沖縄に贈られた折り鶴のカラフルウィッシュを使用、当製品ととても相性がいい。24色セットは2段重ねのトレーを自由に並べて使え、保管時にはゴムバンドで束ねる便利な仕様となっている。

公益社団法人日本包装技術協会賞



ゼスプリ 紙製メガパック

ゼスプリ インターナショナル ジャパン株式会社

A D : 佐藤 慶太

M : TOPPAN 株式会社

選評

従来の透明プラスチックトレイを紙パッケージにリニューアルした。段ボールでもない、紙の状態ですっかりとスタッキングできる構造設計は目立たないが実に革新的だ。表面を自由な印刷デザインで飾れるのも紙製の利点となり、店頭でのブランド訴求に抜群の効果を発揮するだろう。紙への素材変更が環境配慮につながっていることは言うまでもない。輸送から店頭で顧客が手に取り、家での廃棄まで、それぞれの段階にメリットをもたらしている。

公益社団法人日本マーケティング協会賞



休日だし。

味の素株式会社

- CD : 味の素株式会社
- D : オーフラット株式会社
- BO : 大日本印刷株式会社 (包材<個装、スティック>)

選評

同社の「家庭用風味調味料」カテゴリから、18年ぶりの新しい「だし調味料」として発売された。リッチな素材を使い、日常の料理に上質さと楽しさをもたらしたいと願いを込めた。紙製パウチに表現されただし素材のイラストは、どれも不自然に突出することなく、柔らかく奥ゆかしい。丹念に作られた商品そのものの「素材感」や「自然」といったこだわりが織りなすイメージを外連味なくまとめている。

一般社団法人日本プロモーション・ マーケティング協会賞



日清焼そばU.F.O. お試し U.F.O.

日清食品株式会社

MK : 日清食品株式会社 猪井 正史 渡邊 真 藤田 美佳
久野 純一
D : 稲毛 桃子 檜本 真理子 細野 美花

選評

店頭で「何だこれは」と思わず手に取ってしまった。同社では「若者の喫食率アップを目指し、ちょっと手抜きした分、価格をお安くした『お試しU.F.O.』を企画した」という。学生がマジックで描いたようなラフな表現で、訴求コピーも付箋や値下げシールを貼っただけのイメージ。「デザインされていないデザインを目指した」という。「買ってみよう」という気持ちを刺激する非常に優れたパッケージ企画だと思う。

一般社団法人日本百貨店協会賞



ザ・ニッカ ナインディケイズ 木箱

ニッカウヰスキー株式会社

D : TOYBOX
P L : TOPPAN 株式会社 根上 周
C O : TOPPAN 株式会社 武内 友理子
M : TOPPAN 株式会社

選評

ニッカ創業 90 周年を記念してつくられた、販売価格 33 万円の限定商品。高級感を持たせつつも海外輸出に堪えられる木箱とするために、湿度の影響の少ない木材を用い、輸送時の湿度変化による歪みを抑えた。瓶を固定するクッションもデザインを損なわずに固定できる形状とした。デザイン面では、内側にアクリル鏡を付けることで展示品としての完成度を持たせたほか、外側の複数回塗装により木面に重厚感を持たせている。

一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞



創味あえるハコネーゼ ツインパック

株式会社創味食品

D : 株式会社 muse 菊池 満

M : TOPPAN 株式会社

選評

2食分を真ん中のミシン目で切り離し可能ないわゆるツインパックなのだが、2食タイプの「あえる系パスタソース」の分野では初なのだという。一般的な2食入り食品で用いられている外装袋の廃止を実現している。流通の効率化にも大いに寄与している。過剰包装を廃止するとともに、生活者がゴミを捨てる手間が減ることで、ユーザーフレンドリーな商品となっている。

一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞



「スパイスプレミアム カレーシリーズ」
紙製スタンドパウチ

エスビー食品株式会社

CD : 松下 圭子
AD : 遠藤 健一

選評

スパイスの効いた本格カレーのパウダールウを紙製スタンドパウチ形態に閉じ込めた。環境への配慮からパッケージの紙化は各分野で広がっているが、この商品ではさらに、印刷表現や質感の面で紙の特性を生かしている。上質なカレー専門店を思わせるエスニックな世界観のデザインと、手に触れる紙の風合いとの調和が、商品の魅力を倍加させている。若い世代の心にも刺さりそうだ。

一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞



豊島区立豊成小学校の学校のカレー
／豊島区立豊成小学校の児童が考えた
アーモンドミルクバナナカレー

株式会社にしき食品

S V : 株式会社にしき食品・豊島区立豊成小学校
M : TOPPAN 株式会社

選評

自分たちのカレーが商品になったことで小学生も楽しかったろう。小学生のうちから仕事への意識や未来への希望を養おうとするこの企画を称賛したい。商品自体も技術とデザインを両立し素晴らしいと思った。スタンディングパウチはアルミベースではなく紙製。製造時のレトルト殺菌に耐える特殊な耐水用紙と、世界最高水準のバリア性能を持つ透明バリアフィルム「GL BARRIER」を使用している。カレーのイラストは画用紙に描いた絵のようになつかしくかわいらしい。

一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞



久世福商店監修シリーズ

サンヨー食品株式会社

選評

サンヨー食品と久世福商店のコラボで生まれた袋麺とカップ麺。久世福の世界観を価格帯の低い商品にマッチさせるのは相当難しかっただろう。久世福ブランドが持つシックなイメージを白と黒で演出し、パッケージでは珍しいピントをぼかす手法でシズルの主張を抑え、久世福ロゴを最大限主張するデザインでまとめた。マット印刷技術やシズルの見せ方の工夫も生きた。

一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞



デザインストーリーマパウチプロジェクト

聖隷浜松病院

- AD・D : 横浜市立大学
先端医科学研究センター コミュニケーション・デザイン・センター
- M : コロプラス株式会社 TOPPAN 株式会社
TOPPAN インフォメディア株式会社

選評

オストメイトの方が抱える悩みを癒すため、パッケージの視点が大きいに盛り込まれた。ストーリーマパウチに、オリジナルデザインが施されたラベルを装着し覆ってしまうというもの。透明に近い素材のままでの日常での使用は、着替えなど患者にとってストレスとなる局面が多い。入浴の際もはがれないように工夫されているという。デザインは花や風景、キャラクターなど41種類で、デザイン学校の学生が協力した。病院の心遣いに敬意を表したい。

洋菓子部門賞



AD : 貝塚 珠季 土屋 陽和
D : 藤沼 佳世 續 聡子 高原 南
CO : 織田 光郎 PD : 三木 康祐 M : TOPPAN 株式会社

ピノ チョコアソート、ピノ シーズンアソート
(パックマンパッケージ)

森永乳業株式会社

組み立てるとオリジナルゲームが出来上がるピノの限定パッケージを見ると毎回、愉快になる。今回はクレーンゲームに。クレーンのつまみを動かすとアーム部分が開閉し、実際に個装のピノをつかめる。みんなで大好きなピノをワイワイ頬張る、そんなシーンが目に浮かぶ。

洋菓子部門賞



キットカット ホリデイサンタ オーナメント缶

ネスレ日本株式会社

クリスマスシーズンに毎年限定販売されるサンタ型キットカット。この商品は2024年の新たなラインアップで、大変な人気を博した。クリスマスツリーにそのまま飾ることができる華やかなデザインで、特別感を演出。家族や友人との楽しいひとときを、より一層盛り上げてくれる。

洋菓子部門賞



CD : 株式会社 明治 デザイン戦略 G
AD : 堀口 朋奈
D : 中田 江里子

チョコレート効果 カカオ 72%ミニキューブ 250g 株式会社 明治
包材にリサイクルPETを採用し、環境対応を図った。商品の従来のコンセプト・世界観はそのままに、デザインや包装形態をシンプルにした。落ち着いた印象だがブランド発信力の強い秀逸なデザインとなっている。比較的大容量だが、チャックが付いて使いやすい。

和菓子部門賞



福々めん 株式会社でん六
節分豆と鬼の面がセットになった商品。同社は毎年、節分を盛り上げてくれるが、環境配慮も怠っていない。従来のプラスチック製のお面を段ボールに置き換えた。同時にデザインにも楽しい工夫が見られ、包装の正面を透明窓にして中のお面の顔を生かしている。

和食品部門賞



P D : TANK 株式会社 中山 研一
A D : TANK 株式会社 平野 隆則 D : TANK 株式会社 大石 麻阿弥

カップ入り お茶づけ海苔、カップ入り さけ茶づけ 株式会社永谷園
お茶づけに進化をもたらしたと言っていいと思う。カップにお湯を注ぐだけで、いつでもどこでも気軽に食せるようになった。ありそうでなかった。デザインはいつものあの味をしみじみと思い起こさせ、安心感をもたらしてくれる。

中華・エスニック食品部門賞



D : イワヤヨウヘイ P D : 一般社団法人 東の食の会 田畑 元

spisea blue 株式会社おのざき
福島の老舗の鮮魚店が、美味しいのに捨てられてしまう未利用魚をカレー缶に生まれ変わらせた。水産業のサステナビリティを心から願い行動に移した企画だ。カレーらしくない外装に驚かせられたが、海と魚とスパイスの混ざり合いを象徴したデザインと知り、心をつかまれた。

健康食品部門賞



おいしいオートミール 新ごはん

日清シスコ株式会社

シズル感たっぷりで特長を分かりやすく訴えかけるデザインに注目した。独自技術によりもちもち感を高めたオートミールが黒背景に映え、実においしそうだ。「新しい主食」としての成分表記は健康志向に印象強く訴えかける。

一般飲料部門賞



M : TOPPAN 株式会社

ネスカフェ ホイップタイム シリーズ

ネスレ日本株式会社

消費者にアップサイクルを啓発するキャンペーンが展開された。使用済みスティックを封筒に入れて送ると、アップサイクルされたアイテムなどが当たる。単一素材だからリサイクルしやすい。未来を想う企業姿勢が、商品そのものやマーケティングに素直に反映されている。

衣料品部門賞



PD : 株式会社レヴアル 三原 千恵
D : koji M : 株式会社ジェイビーエフサプライ

5本指タイツ

株式会社レヴアル

プラスチックを削減した設計力を評価したい。OPP袋と3枚の台紙からなる包材を廃止し、独自の紙包材を採用した。ヒートシールせずに窓のOPPを貼れる。全重量の51%以上が紙となり「紙マーク」表示も可能。プレミアム感を伴わせたこの転換への努力は相当なものだったろう。

化粧品部門賞



AD : 江藤 晴代 D : 道上 泰葉 梶谷 文雄

ポーラ B.A グランラグゼ 0

株式会社ポーラ

最高級クリームとしての魅力に、廃棄物削減を伴わせた。一枚の紙を精巧に折り上げる新しい包装形態は、独特の審美性を放つ。容器はバイオマス PET 樹脂を使用し、透明感の奥に多彩な表情を見せる色合いと、繊細な曲面に造り上げられた形状は深みがあり心地よい。

化粧雑貨部門賞



CO・D : 花王株式会社
M : TOPPAN インフォメディア株式会社 TOPPAN 株式会社

メンズビオレ顔もふけるボディシート ポケットになるシール付き 花王株式会社
外出先では使用後のボディシートの捨て場に困るものだが、製品表面のシールを裏面に貼り替えるとポケットとなり、収めておける。見事なアイデアに拍手を贈りたい。このシール、店頭では商品保護やアイキャッチとしても機能する優れたもの。

化粧雑貨部門賞



AD : 丸橋 加奈子
D : 風巻 泰史
重田 くるみ
羽室 暁

IUGEN 株式会社ポーラ
透明感のある独特な形状の容器は、周囲の景色を屈折させながら表情を変える。同社によると「目に見えるものだけでなくその先を感じ想像する、日本ならではの美意識を感じてもらうデザイン」。最高峰のアメニティブランドの新しい世界観と出会い、長時間見入ってしまった。

化粧雑貨部門賞



CD : 齊藤 純一 AD : 小山 計 D : AKiTE Co.,Ltd.

hadakara 泡で出てくるボディソープ

ライオン株式会社

競争激しいボディソープ市場の中で、デザインに繊細さを感じる。シリーズとしての品位ある配色をベースに、ラインアップそれぞれのイラストやワードの表現が細密に練られ、論理性を伴わせながら配置されている。日用品にこうしたプランニング力が広がってほしい。

一般雑貨部門賞



D : 株式会社カンペハピオ 城内 梨花
 PL : 株式会社カンペハピオ 田川 須美 眞砂 麻里奈 康田 香里
 M : TOPPAN 株式会社

ボタニカルペイント 600ml

株式会社カンペハピオ

「塗料容器と言えば缶」というイメージを覆し、環境に配慮した紙パックボトルが採用されている。中身の塗料そのものも、主成分の約90%が植物油を含む天然植物由来。商品丸ごと、環境にも人にも優しい。

一般雑貨部門賞



M : TOPPAN 株式会社

紙パッケージ両面テープ

積水マテリアルソリューションズ株式会社

同社の「脱プラ」の取り組みの一環となる商品で、パッケージをプラスチック使用量ゼロの紙単層素材に切り替えた。業界初だという。ニスによる接着や充填適性などを工夫し、商品化にこぎつけた。特徴がダイレクトに伝わってくる外連味のないシリーズデザインも秀逸だ。

電気機器部門賞



C D : 吉田 馨
A D : 木住野 彰悟
D : 田上 望、是川 優香
C W : 岡本 欣也

おくち育

ライオン株式会社

子どもたちにお口の健康について学んでもらいたいと同社が提案する「おくち育」。アプリ連動の歯ブラスタンドや、グミなどの外装は、親子が新習慣として取り入れるにふさわしい親しみやすさにあふれる。三日坊主に終わらせないワクワク感に満ちたアイテムがそろっている。

贈答用品部門賞



PD・AD : 森田 総一郎 M : TOPPAN 株式会社

「クノール® アドベントカレンダー」<スープ7袋入>

味の素株式会社

クリスマスに向けた1週間のカウントダウンとともに、通販限定の贅沢なスープを日替わりで楽しめる。絵本のような構成のページをめくっていくと、スープを楽しむ妖精たちの物語と出会える。スープとパッケージの同社ならではの共鳴に心もからだも温められる。

贈答用品部門賞



AD : カゴメ株式会社 真野 三奈

D : ダイナパック株式会社 柴田 真美 M : ダイナパック株式会社

【アスクル・ロハコ限定】

カゴメ株式会社

カゴメ トマトジュース 食塩無添加 200ml デザイン BOX

外側には成熟したみずみずしいトマトのイラスト。めくっていくと内側ではトマトが種から育っていく様子が楽しめる。縦でも横でもデザインが成立する工夫もある。ECでの購入商品がこうしたデザイン段ボールで送られてくるというのはうれしいものだ。

POP部門賞



S V : TOPPAN 株式会社
M : TOPPAN インフォメディア株式会社

未来のレモンサワー ハットオン

アサヒビール株式会社

POPに押された「世界初」の箔は、輪切りレモンが入ったアルコール飲料だということと、同社独自のフルオープン缶を生かした「飲み口を隠さない形状」を誇っている。高級感を伴いながらシンプルであるにもかかわらず、積み重ねを邪魔しない構造もこれまでにない。

地域産業商品部門賞



M : TOPPAN 株式会社 A D ・ D : カサイマキ
S V : 佐藤 晴美 P D : 福光 太郎

すっぴん酒風呂 S10

株式会社福光屋

肌に良いといわれる日本酒の発酵成分を応用した酒風呂専用の「入浴酒」。紙パックの印刷の自由度を生かしたライラックとライトベージュのトーンと、シンプルなロゴデザインとの組み合わせが美しい。

ペット用品部門賞



PD : 株式会社カラーズ・プロダクツ 野上 絵美 D : 池尻 修一
CO : (株)トッパングラフィックコミュニケーションズ 苑田 孝之
M : TOPPAN 株式会社

きなり クリスマスボックス

株式会社カラーズ

国産の愛犬用おやつブランドが「パートナーといっしょに楽しむクリスマス」をテーマに特別なボックスを作った。洋館風の穏やかなデザインをながめつつ、今年はどんなクリスマスを過ごそうかと思いをはせるのだろう。贈っても贈られても愛犬家はわくわくしそうだ。

外国人向け商品部門賞



BM : Global Branding Partners 西脇 健一
D : ネスブランドデザイン株式会社 漆原 正行

Naniwa Whetstone

ナニワ研磨工業株式会社

日本食や和包丁が世界に広がる中、砥石メーカーが海外向け販売を強化。最適な研ぎ角度 15 度の線を共通要素とし、製品のイニシャルを表現したという。単純な線の並びは冗長に陥りがちだが、細密で丹念な作り込みが、ジャパंकオリティを想起させる見事な洗練性をもたらした。

ベビー用品部門賞

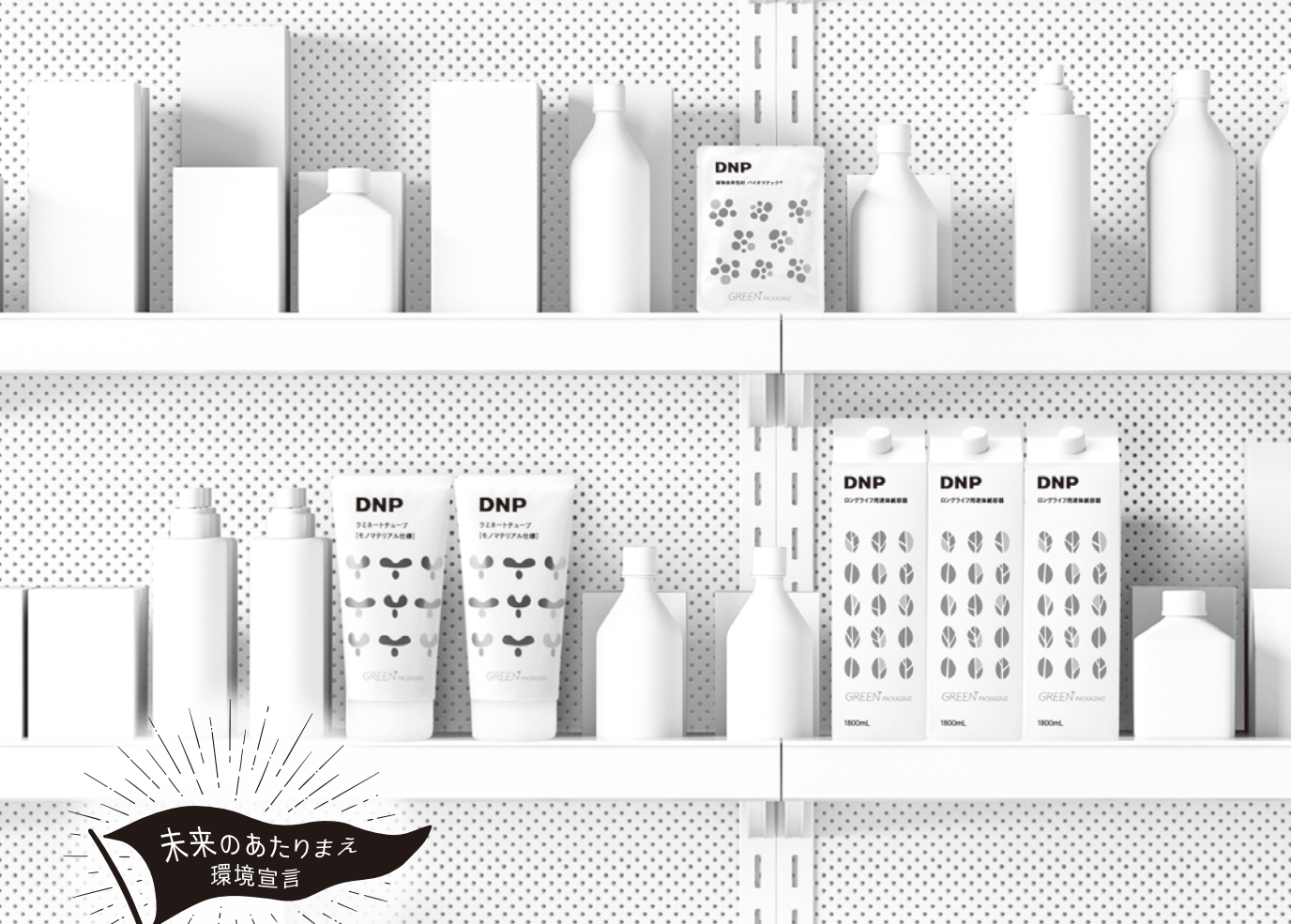


M : ピジョン株式会社 株式会社ヒガシマル 大日本印刷株式会社

ぷちキッズごはん

ピジョン株式会社

幼児向けのカップごはんだけに、慎重に作ってあげたいところ。ふたの表裏両面に作り方が明記されており、見返す必要がない親切なデザインに感心させられた。他のカップへの移し替えもしやすい形となっている。優しさあふれるパッケージだ。



未来のあたりまえ
環境宣言

※イメージ

脱炭素で「クリーン」な未来へ

私たちDNPは、工場の省エネ活動や再生可能エネルギーの導入等を進め、
 自社拠点での事業活動に伴うGHG(温室効果ガス)排出量の実質ゼロを目指します。
 また、日常のさまざまな場面でご利用いただく私たちの製品・サービスを通じて、
 脱炭素社会の実現に貢献していきます。

「環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING®」 植物由来包材バイオマテック®

プラスチックの原料の一部を石油由来から植物由来に置き換え、製品のライフサイクル全体でCO₂排出量を10%以上削減しています。



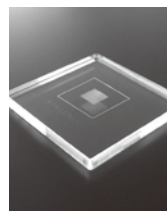
リチウムイオン電池用 バッテリーパウチ

脱炭素社会の実現に欠かせない電動化のカギを握る蓄電池。その外装材に必要な水蒸気のバリア性や耐熱性・耐振動性・長寿命化を実現しました。EV(電気自動車)などの需要にも応える製品です。



ナノインプリント リングラフィ(NIL)

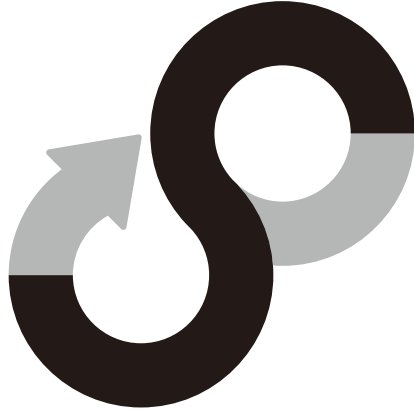
超微細な凹凸を形成した版を押し付けることで、シリコン基板上に回路パターンを作製する技術。半導体露光工程の消費電力を従来手法の約1/10に抑制し、製造コストの削減も可能にします。



未来のあたりまえをつくる。

DNP

大日本印刷株式会社



SMARTS™

Smart Choice, Sustainable Future
with TOPPAN

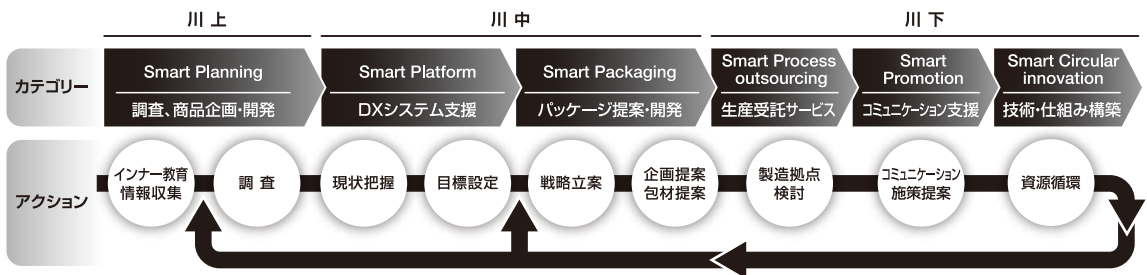
“サステナブルな未来に、スマートな選択を”

「SMARTS™(スマーツ)」は、パッケージを起点とした
TOPPANグループのサステナブルブランドです

パッケージで培った技術・ノウハウに、マーケティング・DX・BPOなどのリソースを掛け合わせ、
バリューチェーンに沿った最適な選択肢を提供します。

TOPPANは、「SMARTS™」が持つ多彩なソリューションで、
ステークホルダーの皆さまとともに持続可能な社会の実現に貢献します。

<お客様のバリューチェーンに沿ったSMARTS™の支援領域>



包むことでひらける未来がある。



「SDGsの目標達成に、ビジネスを通じて貢献したい！」

でも当社の商品はプラ容器に入れないと、お客さまのもとにお届けできない…。

どうすればプラスチック原料を減らせる？ 容器を変更するなら、
ついでにユーザビリティも高めたいけど、それはさすがに難しいかな」

いえ、不可能ではありません！

TOMOWELの共同印刷なら、その要望にお応えできます。

イノベーションも、サステナビリティも。 支える、TOMOWEL。

共同印刷株式会社



www.heiwapaper.co.jp

Passion to Paper

心地よく、自分らしく暮らす。

最近、そんなライフスタイルを実践する人が増えています。

大量生産された画一的なものではなく、

誰かの想いが詰まった、ストーリーのあるものを選ぶ。

人々の価値観が変わってきた今、「伝える」方法にも注目が集まっています。

私たち平和紙業は、「感じる紙」をつくり、届ける会社です。

紙に触れることは、文字や言葉では語りきれない多くの情報に触れること。

情報があふれる時代だからこそ、私たちは「紙で伝える」この意味を考え、

ひとつひとつの情報の豊かさを追求しています。



HEIWA PAPER

平和紙業株式会社

東京本店
東京都中央区新川1-22-11
Tel 03-3206-8511

大阪本店・名古屋支店・福岡支店
仙台支店・札幌・広島・香港



PAPER
VOICE

ペーパーボイス東京／大阪

東京都中央区新川 1-22-11
Tel 03-3206-8541

大阪市中央区南船場 2-3-23
Tel 06-4967-5013

PAPER VOICE
VELLUM

ペーパーボイスヴェラム

名古屋市中区錦 1-3-7
Tel 052-223-2314

歴代最高賞作品で振り返る パッケージングの風景

JPC（ジャパンパッケージングコンペティション）は、1961年に二人の著名デザイナーが中心となって創設した「パッケージング年鑑賞」がルーツとなっています。

最高賞である「通商産業大臣賞」は翌62年に制定されました。同時にコンペの名称は「パッケージング展」(JPC通算第1回)と改称されています。通商産業大臣賞は75年(第14回)から、「総合的に秀でたもの」1点、環境問題、リサイクル、バリアフリー等「社会的機能に特に秀でたもの」1点の計2点を選ぶこととなりました。

現在の「JPC（ジャパンパッケージングコンペティション）」への模様替えは83年(第22回)に実施されています。通商産業大臣賞は2001年(第40回)から「経済産業大臣賞」に変わり、現在まで継続されています。

このページではこれまでの最高賞作品を振り返っていきます。時代の流れに沿って、パッケージングに求められてきた機能の変遷をくみ取っていただければと思います。

▼ 1965年 通商産業大臣賞(JPC通算第4回)



ヤシカ 16EE 株式会社ヤシカ

アートディレクター：佐藤 吉也

デザイナー：佐藤 慈子

制作会社：コスモス工業株式会社 日之出工業株式会社

<当時の選評>

16mm小型カメラのパッケージ。従来は中包装に発泡スチロールが使われており、店頭ではカメラのみが展示されていた。このパッケージは丸型透明樹脂を使い、そのまま陳列効果をねらっている。高級カメラを意識した効果あるデザインである。

▼ 1966年 通商産業大臣賞(JPC通算第5回)



三菱鉛筆ユニ 三菱鉛筆株式会社

アートディレクター：榎原 春近

デザイナー：矢崎 克彦 赤尾 末男

制作会社：積水工業株式会社 大日本印刷株式会社

<当時の選評>

高級鉛筆としての格調の高さをねらったデザインで、アフターユーズのできる容器をコンセプトに作られている。フタの部分を透明にし使用性を考え、紙レーベルを使用せずuniブランドを金箔仕上げにし、無用な装飾をさけたデザインが良い。



Eat Well, Live Well.

Ajinomoto
AJINOMOTO

CookDo
クックドゥ

∞
麻婆豆腐



∞
トマト



∞
豚汁



∞
つくだれ



大人の本音を刺激する

∞
汁なし担々麺



∞
担々豆腐



∞
担々鶏



∞
担々袋麺



<https://www.ajinomoto.co.jp/cookdo/jan/>

2025 JPCガイドブック 2025年5月30日・発行所・木村企画・〒115-0042 東京都北区志茂2-27-7 フラットYK3-101 Tel.090(1113)6045 ¥800(+税)